

「学生によるミタカ・ミライ研究アワード 2020」申込書

「学生によるミタカ・ミライ研究アワード 2020」において、下記のとおり自らの調査研究を発表したいため、募集要項に基づき応募します。

研究テーマ	安全な自転車の道
-------	----------

◆応募者（応募代表者）

(フリガナ) イ タクセイ	大学名、学部名、ゼミ名(あれば)
氏名 YI ZESHENG	亜細亜大学 都市創造学部

◆共同提案者

氏名(フリガナ)	大学名、学部名、ゼミ名(あれば)
矢澤ほのか	亜細亜大学 都市創造学部
ZHANG FENGXI	亜細亜大学 都市創造学部

◆研究の動機、テーマに関する考え、研究計画・手法などを、600字以内で記載

コロナウイルスの影響で人々の生活様式も変わり、テレワーク、オンライン授業などが社会の主流になり、ある産業の台頭は必ず他の異業種にも影響します。コロナ禍の最近では「Uber Eats」などフードデリバリーアプリの利用が急増。三鷹市でも宅配サービス「デリバリー三鷹」を実施しています。ある産業の急速な発展は、必ずそれに関連する問題をもたらします。

最近の世論調査によると、デリバリー配達員は日本人の最も嫌な職業になりました。理由は配達員交通規則に違反や配達時間が長すぎるという理由です。ある場所で2時間の「自転車違反の厳正調査」では、52人が交通違反で警告されました。その中の16人は全部UberEatsの配達員です。それは道路に起因しています。そのために道路の安全と配達員の良い働く条件を守るために、自転車専用道路を設置する必要があると思います。それはまた市民にとっても安全な道になります。

実施する構想：例えば歩道を自転車専用道路とで分け、自動車道路をバイク用車道とで分けます。そして住民に自転車専用道路のメリット、自転車専用道路に関する規則を伝えます。

研究計画：実地調査で最近の自転車やバイクによる交通事故のデータを収集して、事故の原因を統計します。また、デリバリー配達員など、自転車やバイクで通勤する人にインタビューして普段は運転中に面倒なことと自転車専用道路に対して意見を取材します。